



# 砂防事業の出前講座を行いました。(Part2)

平成25年11月22日(金)

平成25年11月22日(金) 八郷(やごう)小学校4・5年生27人を対象に、砂防事業の出前講座を行いました。最初に小学校教室で、映像や模型などを使い大山の頂上部の状況や土石流が発生するしくみ等について学んでいただき、次に真野(まの)2号砂防堰堤に移動し、スリット型堰堤の役割などについて説明を行いました。児童の皆さんからは、積極的にたくさんの質問をいただきました。

土石流の恐ろしさを動画で勉強



大山の頂上部について説明



見学に行った真野2号砂防堰堤は、本体の真ん中にすき間をつかって、小さな石だけを流す砂防堰堤なんだよ。



模型を使って土石流が発生する状況を説明



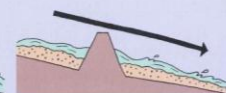
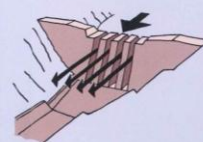
真野2号砂防堰堤を見学



スリットの構造

大きな洪水(土石流)がおこった場合

小さな洪水の場合



大きな岩などが流れていくのを止める

下流に被害の出ない小さな土砂をスリットのすきまから流す

土石流による災害からみなさんの安全を守ると同時に  
環境への影響にも配慮した新しい堰堤“スリット型”が採用されています。